

高齢者在宅サービスのご紹介

高齢者の在宅生活を支える、さまざまなサービスがあることをご存知ですか？
熱中症に注意が必要なこの季節、ここではそのサービスの一部をご紹介します。



こんなことで困っていませんか？	こんなサポートがあります	対象となる方
持病があり一人暮らしでは不安感が強い。簡単に救急車を呼んだり親族と連絡が取れればいいのに・・・。	【緊急通報システム】 電話機大の本体またはペンダント型の発報機からボタン一つでセンターに繋がります。看護師常駐のセンターでは、救急車の要請や家族への連絡、健康相談にも対応しています。	65 歳以上の虚弱な一人暮らしの方または高齢夫婦のみの世帯で、どちらかが虚弱であり、常時注意を要する方。アナログ回線の固定電話機が設置されている必要があります。
一人暮らしをしているが、家に電話機がなく、孤独感を感じている。緊急時に救急車を呼ぶことも出来ない。	【福祉電話設置事業】 福祉電話（固定電話機）を貸し出し、緊急連絡手段を確保。会話の機会を増やし孤独感をやわらげます。電話機本体のレンタルから設置までの料金は市が負担。通話料のみ自己負担です。	おおむね65歳以上の、電話機が無く（携帯電話を含む）日常生活に不自由が多い一人暮らしの高齢者で、非課税世帯の方。貸与した電話機は、サービスを終了する際ご返却いただきます。

高齢者在宅サービスについて
詳しくはこちらから▶



問合せ・申込みは、お住まいの地域の
「地域包括支援センター」へ▶



問 介護長寿課 長寿支援係 ☎893-4411(内線 4134)

宜野湾市社交飲食業協会のSDGsな取り組み!

ソデイカで“イカ”した取り組み実施中!

宜野湾市社交飲食業協会では、宜野湾漁港で水揚げされたソデイカの未利用部位を活用し、地産地消、水産振興に取り組んでいます。これまで食材としてあまり使われてこなかったソデイカの未利用部位を美味しく、食べやすく、各事業者が工夫を重ねて調理を行っています。SDGs の観点からも意義のあるこの取り組みは、オリジナルメニューの開発にもつながっており、イカ天やイカフライといった定番商品のほか、冷イカそうめんや、タコライスならぬイカライスなども販売中です。

▼ソデイカ(セーイカ)



食べることでSDGsに貢献してみませんか?



現在、琉球大学医学部教育棟 1F「がじゅまるラウンジ」内では、市内の 3 事業者が出展し、ソデイカを使用したおいしいお弁当を販売しています。

大学病院をご利用の際はもちろん、西普天間エリアは散策やウォーキングにもぴったりのスポットです。近くを訪れた際には、ぜひお気軽にお立ち寄りください♪

▼事業者の皆さん



問 宜野湾市社交飲食業協会 ☎892-2376